

R5. 11. 22 青谷小学校保護者説明会要旨

～事務局説明～

★要旨

- 路線やダイヤは、基本的には現在の日ノ丸バス等の路線のうち、定期的な利用のあるダイヤを踏襲し、それに長和瀬絹見循環線を設定するなど若干変更・調整したもの。
- 通学の便については青谷駅を通過しない路線とするなど、生徒の安全確保の観点から一般の方と生徒が混乗しないよう工夫している。
- 市有償運送は土日祝日運休だが、運動会や学習発表会などの学校行事が土日祝日にある場合は、児童の登下校に係るものに限り学校からの要請を受けて運行予定。
- 下校の便は生徒の下校時間に合わせ6便設定してある。どの便で帰るのかは、前の月に学校から保護者へお知らせする予定。その中に土日祝日の学校行事がある場合の運行というものも当然含まれる。
- スポ少の行き帰りはワゴン①②の時間が合う便を利用していきたい。
- 学童保育を利用している児童の帰宅便は、ワゴン①②の16:33の便を利用していきたい。
- 乗降場所は変更していない。
- バス停と集落の間の行き来に県道を横断させないよう、登下校便の運行ルートを工夫している。
- 定期券は基本的には夏休み・冬休み・春休みを挟んで3期に分けて発行する予定。どうしてもということであれば、2月末までに支所に言ってきてもらえれば対応したい。
- 平日の日中の授業として和紙工房や青谷中学校に行き体験活動を行うことについては、学校による貸し切りバスで対応していただくことになる。
- この案で来年4月以降の通学についてバスを運行し、様子を見させていきたい。

★今後のスケジュール

- 小学生の登下校の試験運行：1月15、16、17日
マイクロバス2台を使用しての実施。詳細が決まり次第、別途案内させていただく。
- 一般の方向けの試験運行：2月の14・15・16日
15人乗りと10人乗りのワゴン2台を使用して実施。
- 来年度時刻表の配布：2月末
- 定期券発行：来年の4月初め

【質疑応答】

○徒歩の児童が、親せきの家に行くために下校便に乗ったり、バス通学の児童が帰宅する路線とは別の路線のバスに乗って親せきの家に行ったりすることは可能か。そういった場合、学校に伝える必要はあるか。

⇒通学に使うマイクロバスの乗車定員は運転手込みで29人。一般の乗客も乗る可能性もあるので、生徒は大体23～24人程度としている。基本的には乗車定員に余裕があれば乗ってもらったらよいと思う。ただ、学校側はどの便に何人乗るというのを、児童を管理する関係で把握する必要があるのではないかと思う。このため、学校側の通学の安全確保上の観点、学校への通学届との関係で判断していただき、乗れるかどうかが決まってくると思っている。

○この資料の路線は決定か。

⇒一昨日開催された地域生活交通協議会で今日お示しする案で承認を得ている。そのため、基本的にはこの形で4月以降運行させてもらいたい。4月以降の運行開始後に要望等があれば、それからできる限り改善に努めたいと考えている。

○露谷・八葉寺などへは運行してもらえないか。

⇒露谷や八葉寺に児童がいることは承知しており何とかしたいという思いで検討させてもらった。ダイヤを決めるにあたっては、まず小学校の受け入れ時間が7時35分から8時10分という前提がある。このことや現状を考えながら本日お示ししたルートを決めさせていただいた。

○自家用車の燃料の補助について、来年度以降はどうなるのか。

⇒担当課ではないが、今使っておられる制度は4月以降市が主体の運行になっても変わらず使えるということで進めている。

○先月10月20日の新聞記事にバスの有償の登録期限が切れていた件について、その後学校からも鳥取市からも何の連絡もない。今後についてはどうお考えか。返金などの対応についてホームページには書いてあったりするが、なぜ今まで対面あるいは文書等での説明がないのか。すごく不信感を感じる。

⇒交通政策課と絹見バスを運行されている事業者とで利用者に話をするという事は聞いている。そこで利用される方にはすべて連絡がいつているとこちらは思っていた。交通政策課に確認する。

○絹見バスで現在、朝のバスで青谷駅に行かれる方が結構いらっしゃったが、4月以降は絹見バスの朝の便は青谷駅を通らないのか。

⇒絹見バスの2便目の時間を早めているのでそれを利用してもらいたいと思っている。

○バス停以外での乗降は可能か

⇒バス停での乗降を想定している。

【その他】

○朝の便の運行スケジュールがタイトなのではないか